

第125回 岩手小動物臨床研究会(IVC)のご案内

1月は年次大会、IVC 講演会と続きまして、皆様大変ご苦労さまでした。新しい月を迎えて春にまた一步近づいた実感がありますが、気持ちも新たに毎日の診療にお忙しいことと思います。さて、この度、岩手大学小動物外科学研究室の片山泰章先生には、長年の研究テーマでありました腎移植のご研究でめでたく博士号を取得されました。2月の IVC では先生の記念講演もかねまして、腎泌尿器病の検討会を企画いたしました。以下にお知らせする2題の他に、腎泌尿器病の症例を募集しますので、日頃診断や治療に苦慮している腎泌尿器病や、珍しい疾患などなど、何でも結構ですからお持ち下さいませ。有意義な情報交換の場にしたいと考えております。また、検討会終了後に片山先生のお祝いの会を企画しております。今回の幹事は、東和町の及川嗣章先生です。後日、及川先生からご案内が届きますので、こちらの方も是非多くの先生のご参加をお待ちしております。

佐藤れえ子

—記—

日時： 2月 27日(金) 午後7半より9時

場所： 岩手大学 農学部 1号館2階 会議室

話題 : 1. 猫に腎臓病が多いワケ

岩手大学 佐藤れえ子

2. 猫の腎移植

岩手大学 片山泰章先生

3. 腎泌尿器症例検討

I. シュウ酸カルシウム結石が生じた高カルシウム血症の猫の1例

緑が丘動物病院 宍戸 智先生

II. 泌尿器病の「何だ、これ？」

岩手大学 荻野朋子先生